奈良工業高等専門学校	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	開講年度	令和02年度 (2020年度)

学科到達目標

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数								担当教員	履修上の区分
						専1年				専2年					
						前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	選択	アドバンスト・グローバルコミュニケーション	0001	学修単位	2	2								朴 槿英	
一般	選択	海外インターンシップ	0002	履修単位	2	集中講義								直江 一光,朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	0003	学修単位	2			2						Leigh McDowell	
一般	選択	アドバンスト・グローバルコミュニケーション	0005	学修単位	2					2				朴 槿英	
一般	選択	海外インターンシップ	0006	履修単位	2					集中講義				直江 一光,朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	0007	学修単位	2							2		Leigh McDowell	

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルコミュニケーション

科目基礎情報

科目番号	0001	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	ABC World News 20 / 山根繁 他 / KINSEIDO		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

グローバルな英語コミュニケーション能力を養うため、海外のニュースを視聴しながらその背景と内容を理解しつつ、英文を正しく聞き取ることができる。また、与えられたトピックに関するプレゼンテーション資料を作成し、英語で発表するとともに、Q&Aに耐えうるディスカッションスキルを身につけることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
ディクテーション・スキル	英語ニュースを聞き、英文を正しく書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文をある程度書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文を書き取ることができない。
プレゼンテーション・スキル	実用的な内容のプレゼンテーションを、流暢な英語で行うことができる。	実用的な内容のプレゼンテーションを、原稿を参照しつつ英語で行うことができる。	実用的な内容のプレゼンテーションを英語で行うことが困難である。
ディスカッション・スキル	英語による質疑応答においても自身の見解を論理的に説明することができる。	英語による質疑応答に耐えうるある程度の英語運用能力を身につけている。	英語による質疑応答に耐えうる最低限の応答能力を身につけていない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本講義は、英語コミュニケーションスキルをさらに発展させ、より実用的なトピックに関するプレゼンテーションとディベートができる能力を培うことを目的とする。英語プレゼンテーションの原稿とスライドの作成、練習が必須となる。また、英語での質疑応答やトピックディスカッションを実際に行うことで、より実践的なコミュニケーション能力の育成を目指す。 なお、本科目は「グローバル工学協働教育プログラム」の科目と一部として実施する。
授業の進め方・方法	海外ニュースを視聴し、ディクテーション・プラクティスと関連内容を学習する。そして、与えられたトピックについて、構成を考えながらプレゼンテーションスライドおよび原稿を作成し、発表練習を行う。
注意点	生英語を聞き取るために必要な英語コミュニケーションズ能力および関連ニュースに関する基礎知識を身に備えるため、積極的な自学自習が必要である。 学習指針：グローバル社会の様々な話題に対する幅広い知識と柔軟な理解力が求められる。 関連科目：特修英語Ⅰ、特修英語Ⅱ、アドバンスト・グローバルチャレンジ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：英語ネイティブ国の生ニュースを中心に反復的なリスニングプラクティスを行うこと。授業中に用いられるニュースを理解するために必要な情報も事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を適確に理解し、様々な意見を英語で表現できるようにすること。 グローバルなビジネス社会において必要とされる英語プレゼンテーション資料の作成と練習を行うこと。

学修単位の履修上の注意

本科目の到達目標に向けて、グローバルな社会の話題を理解することと、各自の意見を英語でまとめることが求められます。テキストで用いる英語ニュースが聞き取れるまで十分なリスニングとディクテーション訓練を行うこと、そして、与えられた話題に関する英語プレゼンテーションを行うため、積極的な学習取組が大切です。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、ディクテーション・プラクティス	学習目標と内容、評価方法について理解する。生英語のディクテーションの練習ができる。
		2週	Unit 1. Bao Bao to Return to China	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		3週	Unit 2. Coat Designer	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		4週	本文の内容に関連する質疑応答練習＆ミニエッセイ執筆	Assignment Unit 1, 2を行い、課題を提出する。
		5週	Unit 3. Robot Revolution	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		6週	Unit 4. Mother Meets the Recipients of Her Son's Organs	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		7週	本文の内容に関連する質疑応答練習＆ミニエッセイ執筆	Assignment Unit 3, 4を行い、課題を提出する。
		8週	Unit 5. Day Without Immigrants	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
	2ndQ	9週	Unit 6. 911: Fatal Flaws	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。
		10週	本文の内容に関連する質疑応答練習＆ミニエッセイ執筆	Assignment Unit 5, 6を行い、課題を提出する。
		11週	Unit 7. Rising Costs of Trump Family Travel	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		12週	Unit 8. 13-year-old on a Game Show	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		13週	Unit 9. Virtual Kidnapping	ニュース内容について情報収集し、1分程度のショートスピーチを英語で作成することができる。

		14週	Unit 10. Reunion: Airman and the Little Girl He Saved	Assignment Unit 7~10を行い、課題を提出する。
		15週	期末Writingテスト	期末Writingテストにおける英文質疑応答ができる。
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Final exam & Weekly reports	Weekly assignment quizzes	English report	Feedback on time	合計
総合評価割合	50	20	20	10	100
基礎的能力	50	20	20	10	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	海外インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0002	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	Original Handouts / 本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	直江 一光,朴 槿英		

到達目標

1. 技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。
2. グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。
3. グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 技術者としての心構えと社会性	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを説明できる。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚している。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚していな。
評価項目2 異文化理解力	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを説明できる。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚している。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化理解力を深める。
授業の進め方・方法	海外インターンシップのテーマと内容については、本校グローバル教育センターと実習先機関が協議して定める。ただし、実習先機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。
注意点	修了証書と実習に参加した学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する帰国報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険への加入を義務付ける。 関連科目・学習指針・自己学習 海外協定校主催の海外派遣に対する事前準備（研修内容の習得のために必要な英語能力および派遣国に関する基礎知識を身に備えるなど、積極的な準備活動が必要である。 学習指針：工学・技術の分野の海外いんあ研修だけでなく，文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。 関連科目：専門科目の中、海外インターンシップの研究分野に関連する科目、英語に関連する科目 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習としては、海外研修で求められる英語コミュニケーション能力を身に着けるためのリスニング、スピーキング練習をすること。 事後展開学習としては、海外研修を通じて学んだ知識に関する英文報告書を作成すること。 実習中の体験を日誌に記録し、報告者作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに、技術者として必要な英語コミュニケーション力を養うこと。

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	１．実施期間 10日間以上にわたり、合計80時間以上従事 ２．学外実習先 本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関 ３．スケジュール （１）海外インターンシップ・ガイダンス ・概要説明 ・海外受入機関の紹介と実習内容の説明 ・安全教育 ・研修テーマのマッチング （２）事前研修 ・海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 ・国際交流報告会への出席 （３）実習 ・実習先でのオリエンテーション ・実習 ・文化交流 ・日誌の作成 （４）海外インターンシップのまとめ ・報告書の作成、帰国報告会でのプレゼンテーション 〔参考〕 これまでの主な実習先 ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）、香港IVE（香港）、国立勤益科技大学（台湾）等	１．技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。 ２．グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。 ３．グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	報告書	実習報告	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル

科目基礎情報

科目番号	0003	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (アドバンストコース)	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Alex Raynham (著) Future Energy		
担当教員	Leigh McDowell		

到達目標

This subject aims to develop specialised English skills for globally active engineers (i.e., reading, writing, and presenting research).

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	Demonstrated advanced writing skills	Demonstrated intermediate writing skills	Demonstrated lack of basic writing skills
評価項目2	Demonstrated advanced presentation skills	Demonstrated intermediate presentation skills	Demonstrated lack of basic presentation skills
評価項目3	Demonstrated exceptional participation	Demonstrated good participation	Demonstrated low participation

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	In order to develop practical English speaking and listening skills, this subject is taught all in English, and students are expected to use English as much as possible.
授業の進め方・方法	This subject is taught all in English, and students are expected to use English. Students practice and learn English discussion skills based around the topic of future energy. The subject includes learning through the lecture and practice to acquire presentation skills. Active participation is required.
注意点	

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson1: Energy today	Understand the contents of Lesson 1 and discuss them in English.
		2週	Lesson2: Fossil fuels	Understand the contents of Lesson 2 and discuss them in English.
		3週	Lesson3: Energy and our planet	Understand the contents of Lesson 3 and discuss them in English.
		4週	Lesson4: Saving energy	Understand the contents of Lesson 4 and discuss them in English.
		5週	Lesson5: The power of the atom	Understand the contents of Lesson 5 and discuss them in English.
		6週	Lesson6: Super fuels	Understand the contents of Lesson 6 and discuss them in English.
		7週	Lesson7: A bright future	Understand the contents of Lesson 7 and discuss them in English.
		8週	Lesson8: When the wind blows	Understand the contents of Lesson 8 and discuss them in English.
	4thQ	9週	Lesson9: Water world	Understand the contents of Lesson 9 and discuss them in English.
		10週	Lesson10: Heat all around us	Understand the contents of Lesson 10 and discuss them in English.
		11週	Lesson11: People power	Understand the contents of Lesson 11 and discuss them in English.
		12週	Lesson12: Nano power	Understand the contents of Lesson 12 and discuss them in English.
		13週	Lesson13: Energy in space	Understand the contents of Lesson 13 and discuss them in English.
		14週	Lesson14: Going local	Understand the contents of Lesson 14 and discuss them in English.
		15週	Lesson15: Where next?	Understand the contents of Lesson 15 and discuss them in English.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Presentation	Class Participation	合計
総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルコミュニケーション

科目基礎情報

科目番号	0005	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	ABC World News 20 / 山根繁 他 / KINSEIDO		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

グローバルな英語コミュニケーション能力を養うため、海外のニュースを視聴しながらその背景と内容を理解しつつ、英文を正しく聞き取ることができる。また、与えられたトピックに関するプレゼンテーション資料を作成し、英語で発表するとともに、Q&Aに耐えうるディスカッションスキルを身につけることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
ディクテーション・スキル	英語ニュースを聞き、英文を正しく書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文をある程度書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文を書き取ることができない。
プレゼンテーション・スキル	実用的な内容のプレゼンテーションを、流暢な英語で行うことができる。	実用的な内容のプレゼンテーションを、原稿を参照しつつ英語で行うことができる。	実用的な内容のプレゼンテーションを英語で行うことが困難である。
ディスカッション・スキル	英語による質疑応答においても自身の見解を論理的に説明することができる。	英語による質疑応答に耐えうるある程度の英語運用能力を身につけている。	英語による質疑応答に耐えうる最低限の応答能力を身につけていない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本講義は、英語コミュニケーションスキルをさらに発展させ、より実用的なトピックに関するプレゼンテーションとディベートができる能力を培うことを目的とする。英語プレゼンテーションの原稿とスライドの作成、練習が必須となる。また、英語での質疑応答やトピックディスカッションを実際に行うことで、より実践的なコミュニケーション能力の育成を目指す。 なお、本科目は「グローバル工学協働教育プログラム」の科目と一部として実施する。
授業の進め方・方法	海外ニュースを視聴し、ディクテーション・プラクティスと関連内容を学習する。そして、与えられたトピックについて、構成を考えながらプレゼンテーションスライドおよび原稿を作成し、発表練習を行う。
注意点	生英語を聞き取るために必要な英語コミュニケーションズ能力および関連ニュースに関する基礎知識を身に備えるため、積極的な自学自習が必要である。 学習指針：グローバル社会の様々な話題に対する幅広い知識と柔軟な理解力が求められる。 関連科目：特修英語Ⅰ、特修英語Ⅱ、アドバンスト・グローバルチャレンジ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：英語ネイティブ国の生ニュースを中心に反復的なリスニングプラクティスを行うこと。授業中に用いられるニュースを理解するために必要な情報も事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を適確に理解し、様々な意見を英語で表現できるようにすること。 グローバルなビジネス社会において必要とされる英語プレゼンテーション資料の作成と練習を行うこと。

学修単位の履修上の注意

本科目の到達目標に向けて、グローバルな社会の話題を理解することと、各自の意見を英語でまとめることが求められます。テキストで用いる英語ニュースが聞き取れるまで十分なリスニングとディクテーション訓練を行うこと、そして、与えられた話題に関する英語プレゼンテーションを行うため、積極的な学習取組が大切です。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、ディクテーション・プラクティス	学習目標と内容、評価方法について理解する。生英語のディクテーションの練習ができる。
		2週	Unit 1. Bao Bao to Return to China テーマ選択、データ収集①	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		3週	Unit 2. Coat Designer プレゼンテーショスライド、スクリプト作成①	第１回目のショートプゼンテーショントピックについて資料を収集し、1分程度の英語プレゼンテーション資料を作成することができる。
		4週	ショートプレゼンテーション練習① ミニエッセイ執筆	ショートプレゼンテーション①を行う。
		5週	Unit 3. Robot Revolution テーマ選択、データ収集②	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		6週	Unit 4. Mother Meets the Recipients of Her Son's Organs スライドとスクリプト作成②	第2回目のプレゼンテーショントピックについて情報共有し、1分程度のプレゼンテーション資料を英語で作成することができる。
		7週	ショートプレゼンテーション練習② ミニエッセイ執筆	ショートプレゼンテーション②を行う。
		8週	Unit 5. Day Without Immigrants テーマ選択、データ収集③	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
	2ndQ	9週	Unit 6. 911: Fatal Flaws スライドとスクリプト作成③	第3回目のプレゼンテーショントピックについて情報共有し、1分程度のプレゼンテーション資料を英語で作成することができる。
		10週	ショートプレゼンテーション練習③ ミニエッセイ執筆	ショートプレゼンテーション③を行う。
		11週	Unit 7. Rising Costs of Trump Family Travel テーマ選択、データ収集④	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。
		12週	Unit 8. 13-year-old on a Game Show テーマ選択、データ収集④	海外のニュースを聞き、内容が理解できる。また、関連内容について情報収集を行う。

		13週	スライドとスクリプト作成④	プレゼンテーショントについて情報共有し、5分程度のプレゼンテーション資料を英語で作成する。
		14週	リハーサル、フィードバック	リハーサルを行い、原稿とスライドの手直しをする。
		15週	期末プレゼンテーション	期末プレゼンテーションを行う。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	プレゼンテーション	課題	エッセー	合計
総合評価割合	50	30	20	100
基礎的能力	50	30	20	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	海外インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0006	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	Original Handouts / 本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	直江 一光,朴 槿英		

到達目標

1. 技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。
2. グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。
3. グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 技術者としての心構えと社会性	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを説明できる。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚している。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚していな。
評価項目2 異文化理解力	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを説明できる。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚している。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化理解力を深める。
授業の進め方・方法	海外インターンシップのテーマと内容については、本校グローバル教育センターと実習先機関が協議して定める。ただし、実習先機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。
注意点	修了証書と実習に参加した学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する帰国報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険への加入を義務付ける。 関連科目・学習指針・自己学習 海外協定校主催の海外派遣に対する事前準備（研修内容の習得のために必要な英語能力および派遣国に関する基礎知識を身に備えるなど、積極的な準備活動が必要である。 学習指針：工学・技術の分野の海外いんあ研修だけでなく，文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。 関連科目：専門科目の中、海外インターンシップの研究分野に関連する科目、英語に関連する科目 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習としては、海外研修で求められる英語コミュニケーション能力を身に着けるためのリスニング、スピーキング練習をすること。海外派遣国に関する基礎知識を事前に習得すること。 事後展開学習としては、海外研修を通じて学んだ知識に関する英文報告書を作成すること。 実習中の体験を日誌に記録し、報告者作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに、技術者として必要な英語コミュニケーション力を養うこと。

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	１．実施期間 10日間以上にわたり、合計80時間以上従事 ２．学外実習先 本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関 ３．スケジュール （１）海外インターンシップ・ガイダンス ・概要説明 ・海外受入機関の紹介と実習内容の説明 ・安全教育 ・研修テーマのマッチング （２）事前研修 ・海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 ・国際交流報告会への出席 （３）実習 ・実習先でのオリエンテーション ・実習 ・文化交流 ・日誌の作成 （４）海外インターンシップのまとめ ・報告書の作成、帰国報告会でのプレゼンテーション 〔参考〕 これまでの主な実習先 ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）、香港IVE（香港）、国立勤益科技大学（台湾）等	１．技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。 ２．グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。 ３．グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	報告書	実習報告	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (アドバンストコース)	対象学年	専2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Alex Raynham (著) Future Energy		
担当教員	Leigh McDowell		

到達目標

This subject aims to develop specialised English skills for globally active engineers (i.e., reading, writing, and presenting research).

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	Demonstrated advanced writing skills	Demonstrated intermediate writing skills	Demonstrated lack of basic writing skills
評価項目2	Demonstrated advanced presentation skills	Demonstrated intermediate presentation skills	Demonstrated lack of basic presentation skills
評価項目3	Demonstrated exceptional participation	Demonstrated good participation	Demonstrated low participation

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	In order to develop practical English speaking and listening skills, this subject is taught all in English, and students are expected to use English as much as possible.
授業の進め方・方法	This subject is taught all in English, and students are expected to use English. Students practice and learn English discussion skills based around the topic of future energy. The subject includes learning through the lecture and practice to acquire presentation skills. Active participation is required.
注意点	

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson1: Energy today	Understand the contents of Lesson 1 and discuss them in English.
		2週	Lesson2: Fossil fuels	Understand the contents of Lesson 2 and discuss them in English.
		3週	Lesson3: Energy and our planet	Understand the contents of Lesson 3 and discuss them in English.
		4週	Lesson4: Saving energy	Understand the contents of Lesson 4 and discuss them in English.
		5週	Lesson5: The power of the atom	Understand the contents of Lesson 5 and discuss them in English.
		6週	Lesson6: Super fuels	Understand the contents of Lesson 6 and discuss them in English.
		7週	Lesson7: A bright future	Understand the contents of Lesson 7 and discuss them in English.
		8週	Lesson8: When the wind blows	Understand the contents of Lesson 8 and discuss them in English.
	4thQ	9週	Lesson9: Water world	Understand the contents of Lesson 9 and discuss them in English.
		10週	Lesson10: Heat all around us	Understand the contents of Lesson 10 and discuss them in English.
		11週	Lesson11: People power	Understand the contents of Lesson 11 and discuss them in English.
		12週	Lesson12: Nano power	Understand the contents of Lesson 12 and discuss them in English.
		13週	Lesson13: Energy in space	Understand the contents of Lesson 13 and discuss them in English.
		14週	Lesson14: Going local	Understand the contents of Lesson 14 and discuss them in English.
		15週	Lesson15: Where next?	Understand the contents of Lesson 15 and discuss them in English.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Presentation	Class Participation	合計
総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100